

地域交流会 講演概要（株式会社KX）

事例・課題の概要

【茨城県鹿嶋市】株式会社KX

- 鹿島アントラーズ・エフ・シー代表取締役社長 小泉氏が個人で設立したまちづくり会社。長らく臨海工業地帯に依存した地域で、自発的なアクションが可視化されていなかったことから、ホームタウンを活性化させる地域プレイヤー（地域で新たなチャレンジをする人）を増やすことが重要との問題意識のもと「一人ひとりが輝く地域になる」をビジョンに掲げ、新規事業の創出・伴走や、コミュニティ醸成に取り組む。

事例・課題のポイント

キーワード：【人材発掘、巻き込み】 【事業の立ち上げ】 【地域内連携、合意形成】 【創業、チャレンジショップ】

- 起業を目指す人や地元経営者らが一日店長を務め、来店客と交流することで創業を支援するスポーツバー「Asobiya（アソビヤ）」を商店街で運営。
- 地元企業を含む13社に参画を募り、スタジアム近接地に複合型宿泊施設「No.12 Kashima Fan Zone」を開業。域外来訪者の周遊を促進。
- 新商品・サービス創出や企画を志向するプレイヤー及びクリエイターを対象としたチャレンジプログラムを開催。
- 企業版ふるさと納税の活用により、参入者のイニシャルコストを下げたキッチンカー型チャレンジショップを運営。

他の地域にも参考となるポイント

- 地域の企業（例：スポーツクラブのパートナー企業）をコミュニティ化し、そのネットワークを頼りに、感度の高い企業に新しい取組を打診。
- 地域への思いがある関係者・地元経営者を巻き込むことを念頭に置き、新たなチャレンジをする人の支援のみならず、自主事業としても地域課題を起点としたプロジェクトや“共感”をよべるプロジェクトを組成する。